

縄文の 川と人と漁

いしかり砂丘の風資料館は、今年オープンから10年目を迎えました。この間、常設展示の1階では、石狩川河口地域の自然と歴史、2階では、発寒川のほとりにある石狩紅葉山49号遺跡について紹介してきました。石狩の地に生きてきた人々

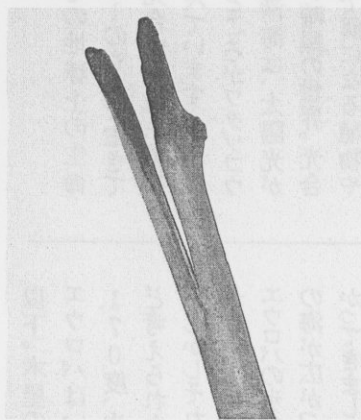
を中心に、石狩のサケ漁のルーツを見つめる展示を開催します。紅葉山砂丘の麓を流れていた縄文時代中期後半(約4千年前)の川の跡からは、サケ漁のしかけと見られる柵や杭が多数見つかりました。また、銚、魚たたき棒などの

の長い歴史は、いつの時代も、大地を流れる石狩川やその支流との関わりを欠くことはできません。

9月より始まる10周年記念テーマ展では、「川と人と漁—遺跡にみる縄文の河川漁」と題し、石狩紅葉山49号遺跡

漁労具、夜の漁に必要なたいまつ、川の移動に使われていた丸木舟の一部や櫂なども出土しました。当時の人々が川と共に巧みに生きた様子がうかがえます。縄文文化の河川漁を通して、先人の知恵と技に触れてみませんか。

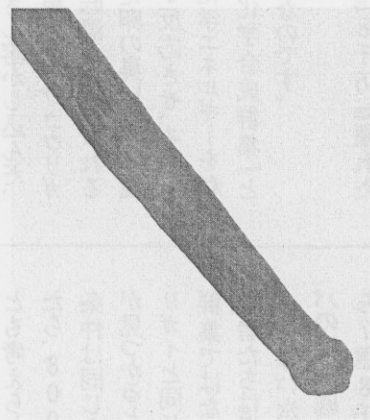
■川の漁に用いたさまざまな道具



たいまつ



銚(もり)と先端につける石器

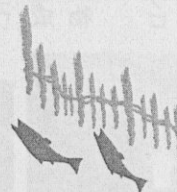


魚たたき棒

10周年記念テーマ展

川と人と漁—遺跡にみる縄文の河川漁

- ◎日 程 9/10(水)～11/10(月) ※毎週火曜休館(祝日の場合はその翌日)
- ◎時 間 9時30分～17時
- ◎場 所 いしかり砂丘の風資料館
- ◎費 用 300円(中学生以下無料、団体料金15人以上240円)



ERIS 「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ(<http://www.i-eris.tv/>)でもご覧いただけます。

問合せ いしかり砂丘の風資料館(弁天町30-4) ☎62-3711

